

題目：薬剤耐性緑膿菌分離状況と患者背景および治療状況の疫学調査

1. 対象：

2011年から2023年までに、大阪大学医学部附属病院において検出された薬剤耐性緑膿菌（MDRP）菌株と検出患者

2. 研究機関名：

大阪大学医学部附属病院（分担研究施設）、大阪警察病院感染管理センター（研究主幹施設）

3. 目的：

薬剤耐性緑膿菌（MDRP）の分離状況調査、分離菌株の耐性遺伝子解析、検出患者の背景および治療状況の後方視的調査をおこない、MDRPの耐性化、治療効果に影響する因子を検討することを目的とする。

4. 方法：

以下の項目を後方視的に調査します。

- ・患者背景および治療状況調査：年齢、性別、診療科、基礎疾患、感染病態、治療抗菌薬および治療効果など
- ・耐性遺伝子解析：IMP-1,IMP-2,VIM-2,GES,KPC,NDMなどの薬剤耐性遺伝子をPCR法により解析する（解析実施施設：大阪警察病院附属臨床検査センター）

5. 意義：

本研究では、耐性遺伝子、患者背景や治療状況を分析し、その情報を臨床側に還元することでMDRP耐性化予防と治療、対応に貢献できます。

6. 個人情報の扱い：

研究対象者のデータから氏名等の個人情報を削り、代わりに新しく番号をつけて匿名化を行います。

7. 問い合わせ先：

大阪大学医学部附属病院医療技術部検査部門感染微生物検査室（[TEL:06-6879-6680](tel:06-6879-6680)）

8. 研究対象者に研究への参加を拒否する権利を与える方法：

上記問合せ先にお電話にて連絡ください。参加を拒否される方のデータはすべて削除いたします。